

医疗·福祉

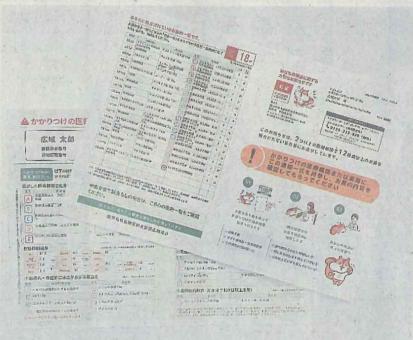
年が明け、健康への意識が高まるこの時期、自身や家族の「おくすり」を見直してみませんか。「処方箋がない薬局へ行きにくい」と感じている方もいるかもしませんが、薬局はもつと気軽に利用して大丈夫な場所です。

実は、皆さんのが加入する国民健康保険や後期高齢者医療制度から、薬の处方が多い人を対象に、はがきや封書で通知が届くことがあります。今の薬が本当に合っているか、一度専門家と確認するきっかけをつくる「適正服薬支援事業」です。通知が届いたら、ぜひ

葉だつ知識

98

お薬相談



薬局や病院に相談に行ってみてください。

実は、皆さん方が加入する国民健康保険や後期高齢者医療制度から、薬の処方が多い人を対象に、はがきや封書で通知が届くことがあります。今の薬が本当に合っているか、一度専門家と確認するきっかけをつくる「適正服薬支援事業」です。通知が届いたら、ぜひ

薬局にもかかりつけを

鹿児島県後期高齢者医療広域連合から届く多剤併用者向けの通知（サンプル）

歓迎です。薬局は薬を渡すだけの場所ではありません。「薬を飲むと胃の調子が悪い」「家族の薬の管理が難しい」など、わずかな不安や疑問も薬剤師が随时受け付けています。

多くの薬をもらつ「多剤併用」になりがちです。飲み間違いや副作用を防ぐためにも、薬を整理することは健康を守る大切な一步です。

お薬手帳や今飲んでいる薬（市販薬やサプリメントも含む）をまとめて薬局に持参し、窓口で「相談に来ました」と伝えるだけです。家族が代わりに来ることもあります。

新年のスタートに、よくすり整理を実践し、すっきり安心して健康生活を始めましょう。あなたの街の薬局をいつでも頼れる「かかりつけ薬局」にしてみませんか。

令和8年1月6日(火)
98.お薬相談